

佐賀城本丸クラシックス1 しまよしたけにゆうほくき

島義勇入北記

藤井祐介編

島義勇

島義勇



収録内容

紀行

- 丙辰江戸行日記 安政三年九月四日～十二月七日
- 奥州行日記 安政三年十一月七日～四年二月十二日
- 奥州并函館松前行日記 志安政四年二月十四日～閏五月十日
- 入北記 行 安政四年七月一日～八月四日
- 入北記 雨 安政四年八月五日～八月二十八日
- 入北記 施 安政四年八月二十九日～九月二十七日
- 函奥日記並東洋記 安政四年九月～十一月八日
- 戊辰江戸行日記 慶応四年二月十六日～五月六日

付篇

- 恭賀恩公閣下陞任左近衛中将序 慶応四年四月建言書
- 北海道紀行詩
- 初代秋田県権令島義勇伺書
- 島義勇蝦夷地関連書翰

明治二年（一八六九）、新政府の開拓判官として札幌を中心とする北海道の都市建設に先鞭をつけた島義勇は、すでにそれを遡る安政四年（一八五七）三月七日に函館の地に立っていた。蝦夷地開拓を企てる佐賀藩主鍋島直正に命じられて海を渡った島義勇は、この探検で北海道や南樺太を踏破し、「入北記」を著わした。そこには当時の蝦夷地の地形や産物、アイヌの生活などが詳しく記録されている。

本書は、佐賀からの行程をふくむ紀行文八篇、関連書翰などを中心に、島義勇の著述を翻刻出版するものである。その記録を繙けば、島義勇がのちに蝦夷地開拓の大任を担ったことに、宿命的なものを感じずにはいられない。

佐賀城本丸クラシックス1 シリーズ第1弾

島義勇入北記 藤井祐介編

2021年3月7日刊

本体価格 5,800円 + 税

体裁(予定): 菊判 225 × 152mm / 252頁 / 貼函
ISBN978-4-905172-15-4

佐賀城本丸クラシックスは、幕末維新期に活躍した佐賀藩の人物に関わる一次的資料を活字化し、広く利用していただくことを目的とした翻刻叢書です。続刊として、江藤新平関係書翰、大木喬任談話筆記、副島種臣関係書翰などを企画しています。

佐賀県立佐賀城本丸歴史館

ご注文はお近くの書店または佐賀城本丸歴史館へ。佐賀城本丸歴史館からの購入で配送をご希望の場合は、別途、送料と振込手数料が必要です。

佐賀城本丸クラシックス1 島義勇入北記 ISBN978-4-905172-15-4 【 冊】 を申し込みます。

ご住所(〒)

お名前(フリガナ)

お電話番号

() -

取扱い店名

年 月 日

佐賀偉人伝

幕末明治期に活躍した佐賀の人物を紹介するシリーズ



鍋島直正 佐賀偉人伝 01

杉谷 昭



佐野常民 佐賀偉人伝 09

國 雄行



大隈重信 佐賀偉人伝 02
内

島 善高



納富介次郎 佐賀偉人伝 10

三好信浩



岡田三郎助 佐賀偉人伝 03

松本誠一



草場佩川 佐賀偉人伝 11

高橋博巳

入

人



平山醇左衛門 佐賀偉人伝 04

川副義敦
博



副島種臣 佐賀偉人伝 12

森田朋子・齋藤洋子

内



島 義勇 佐賀偉人伝 05

榎本洋介



伊東玄朴 佐賀偉人伝 13

青木歳幸



大木喬任 佐賀偉人伝 06

重松 優



枝吉神陽 佐賀偉人伝 14

大園隆二郎

入



江藤新平 佐賀偉人伝 07

星原大輔



古賀穀堂 佐賀偉人伝 15

生馬寛信



辰野金吾 佐賀偉人伝 08

清水重敦・河上眞理

伝

シリーズ全15冊
A5判・112頁
各952円(本体価格)+税

佐賀偉人伝

- | | | |
|----------------|---------------|--------------|
| 01 鍋島直正 (冊) | 06 大木喬任 (冊) | 11 草場佩川 (冊) |
| 02 大隈重信 (冊) | 07 江藤新平 (冊) | 12 副島種臣 (冊) |
| 03 岡田三郎助 (冊) | 08 辰野金吾 (冊) | 13 伊東玄朴 (冊) |
| 04 平山醇左衛門 (冊) | 09 佐野常民 (冊) | 14 枝吉神陽 (冊) |
| 05 島 義勇 (冊) | 10 納富介次郎 (冊) | 15 古賀穀堂 (冊) |

左記内容を申し込みます。

取扱い店名 _____ 年 月 日

名 (リ) _____

() _____